

㊼ 新青森県総合運動公園陸上競技場整備事業（青森市大字宮田字高瀬外地内）

1. 事業概要

青森市安田にある青森県総合運動公園陸上競技場の老朽化や令和8年10月開催予定の「国民スポーツ大会」及び「全国障害者スポーツ大会」などを鑑み、平成23年10月に策定された「青森県スポーツ振興基盤整備計画」に基づき、電源三法交付金などを活用し総事業費約206億円により、平成25年度から陸上競技場、補助陸上競技場、投てき・アーチェリー場の整備を進め、令和元年9月1日に供用開始しました。さらに、令和6年4月には青森県初となる屋内50m公認プールを擁する新水泳場を開館しました。

このうち、陸上競技場は2万席を超える観客席を有し、(公財)日本陸上競技連盟第1種公認及びIAAF認証クラス2の競技場として国民スポーツ大会の施設規定を満たすと共に、Jリーグ(J3)やラグビーリーグワンなどプロスポーツの開催が可能な施設です。



<新青森県総合運動公園の全景>



<陸上競技場の全景>

2. 陸上競技場（第1種公認・IAAF認証クラス2陸上競技場）



【概要】

- 設計：平成25～26年度
- 工事：平成27～30年度（完成：平成30年12月）
- 供用開始：令和元年9月1日
- 延床面積：約31,500㎡
- 構造：S造、RC造、SRC造
- 階数：地下1階・地上4階
- 特徴：雨水を雑用水としてトイレなどに利用・地中熱を空調へ利用

3. 陸上補助競技場（第3種公認陸上競技場）



【概要】

- 設計：平成25～26年度
- 工事：平成28～31年度
- 供用開始：令和元年9月1日
- 特徴：400m×8レーン、ホーム側直走路10レーン、管理棟屋上に320席の観客席あり、陸上競技場まで連絡用地下通路あり、ナイター照明あり、インフィールドは天然芝

4. 投てき・アーチェリー場（付帯投てき場）



【概要】

- 設計：平成25～26年度
- 工事：平成27～31年度
- 供用開始：令和元年9月1日
- 特徴（投てき場）：砲丸投3ヶ所、やり投げ1ヶ所、円盤投げ・ハンマー投げ兼用1ヶ所、フィールドは天然芝
- 特徴（アーチェリー場）：20レーン

5. 新水泳場（日本水泳連盟公認 国内一般プール・AA）



【概要】

- 設計：平成31～令和2年度
- 工事：令和3～5年度
- 供用開始：令和6年4月
- 特徴：50m×10レーン×水深2.2m（最大）、可動床による水深変更、可動壁による2.5m×2面使用、観客席2,043席（固定1,015席、仮設1,028席）、事業手法として青森県で初となる「PFI方式」を採用